

# 耳よりな話

N.58

平成 28 年 3 月 15 日発行

(労働・社会保険ニュース)

## 阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax 042-722-1526

E-mail: [abenenkin@ybb.ne.jp](mailto:abenenkin@ybb.ne.jp)

<http://nenkinsodan.web.fc2.com/>

## ◎社会保障給付の総額は？

平成 25 年度社会保障給付は 111 兆円でした。

その内訳は 年金 55 兆円

医療 35 兆円

福祉介護 21 兆円

以上合計 111 兆円

その他生活保護 3 兆円 (150 万世帯)

社会保障費の増加、特に医療費の増加は少子高齢化とともにますます加速することが予想されています。 壮年層、若年層の負担を減らし、彼らに社会で真に活躍してもらうためにも、高齢者一人一人が、自分の財布の問題として考える必要があるようです。 医療費・社会保障費の膨張のツケは、将来確実に、愛する子供、孫たちに負担させることになります。

## ◎SMAP

平成 28 年は新年早々から大きな話題の幕開けとなりました。

株価の連続しての乱高下、北朝鮮の水爆実験報道などと共に、国民的人気グループ SMAP (Sport, Music, Assemble, People) の独立解散ニュースでした。

SMAP 育ての親と言われる女性マネジャーと、メンバーのうちキムタク (木村拓哉さん) を除く 4 人が所属事務所から脱退独立するというものでした。

一方、キムタク (木村拓哉さん) は「育ての親である女性マネジャーに恩義はあるものの、今日の成功は所属事務所あってのもの」と当初から一貫した意思で所属事務所に残留するというものでした。 結果的にはファンも安心する結論に落ち着いたようです。

その騒動の間、キムタク (木村拓哉さん) の意思や他のメンバーの情報が報道されるにつけ、実践倫理宏正会の上廣榮治会長が会報「倫風」(2014 年 5 月号) に執筆された“倫風宏話”の

内容が鮮やかに思い出されます。

少し長くなりますが、家庭・社会の指針になる素晴らしい内容なので、ご紹介したいと思います。

### 「感謝の思い」こそ、実践の原動力

ソチ冬季オリンピックの熱戦が終わりました。この期間を通じて、すべての選手たちがまるで常套句のように口にしていたのが「感謝」という言葉でした。しかし、それは決して決まり文句などではなく、選手たちの偽らざる思いに違いないと、私は感じました。

(中略)

勝者も敗者も、「感謝の心」が彼らの「人間力」を一段と高めていることがありありと見て取れます。

「感謝の思い」こそが、人を前進させる原動力だと、つくづく感じたものでした。

そんな感慨にふけていたとき、ふと、コメディアンの萩本欽一さんの話を思い出しました。昔、萩本さんが進行役を務めるオーディション番組の中で、彼は一人の少年に「好きなものは何？」と尋ねました。当時15歳だった少年は答えました。「お母さんが作ったお稲荷さん」と。予想外の答えに萩本さんはびっくりしました。そして、「ここに将来の大スターがいる」と直感し、胸が高鳴ったといいます。

ふつう、この年齢の少年が好きなものといえば、チョコレートなどのお菓子か、ハンバーグやスパゲティで、子供のタレントなら「踊り食い」などと言い出しかねないと思っていたのに、古風で家庭的な「お稲荷さん」で、しかも「お母さんが作った」という限定までついていたのです。この年齢になると、人前で「お母さんが」とは、なかなか言わないものです。萩本さんは、そこに並々ならぬものを感じたのです。

この少年は、お母さんが一生懸命お稲荷さんを作る姿を見て育ってきたのでしょう。お母さんも、そういう姿を子どもにきちんと見せてきたのでしょう。だからこそ少年は、大人が仕切る芸能界に接していながら、見るべきところはしっかりと見ることができる感性の豊かさを備えていたのでしょう。

芸の道で最も大切なものは「感謝の気持ち」だと常々思っていた萩本さんは、好きなものは「お母さんが作ったお稲荷さん」という一言で、少年が将来は大スターになると予感したといふのです。

このことがあって数年後、その少年は、ある女性誌の企画、好きな男性タレントのランキング上位に選ばれ、翌年には1位。以来、15年連続でその座を守っているそうです。彼の名は木村拓哉さんです。芸能界の大先輩として多くのタレントを見てきた萩本さんの予感は見事に的中したのです。

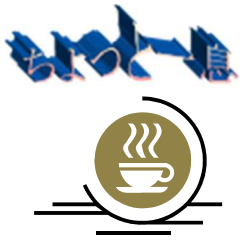
(後略)

どんなに辛い現実にあっても、今あることに感謝できるかどうか再出発への原動力になるという内容ですが、芸能界においても、家庭内においても日頃の「感謝の心」こそがその人の「人間力」や「判断力」を生むとの示唆だと思います。

## 【おことわり】

「耳よりな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にてその骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もいます。その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。

\* 既発行の「耳よりな話」は <http://nenkinsodan.web.fc2.com/> をご覧ください



第一生命が毎年「サラリーマン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

(本件は第一生命様から転載の承認を得ております)

第二十一回 第一生命サラリーマン川柳コンクールより	「まかせたよ」言われた割には 指示多い 雑用係
	休む理由 <sup>わけ</sup> 偽装と知りつつ お大事に やさしい上司
	原油高 この日のために 脂肪ため 心配性
	「いつ買った？」返事はいつも「安かった」 騙されない夫
	半額の シールの後をつけ回すに 節約妻